

竹原市収受
竹原市第号
29.4.13
処理期限 月 日
分類記号 保存年限

議員	副議員	副長	局長補佐	次長	係長	局長
道法		住田			香	栗

資料様式第3号

平成29年4月13日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 大川弘雄 

視察・調査場	福岡市博多区博多駅東1丁目16-14. リソレイン駅東ビル
期日	平成29年4月12日 ~ 平成29年4月12日
経費	48,980円
参加者氏名	大川弘雄
視察・調査目的	地方議員研究会セミナーの受講
内容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<p>人口減少時代の人件費に由来する賃金のポイント</p> <p>1. (10:00~12:30)公務員の人事制度と取組環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入庁の定年制 ・採用と育成、先進事例の紹介 ・給与制度、給与と手当について ・休暇制度 ・年齢別給与と給与構造の紹介 (病欠休暇・特別休暇の運用について) <p>2. (14:00~16:30)給料表の徹底解説(読み解くポイント)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給料は給料表で決まる ・給料表は各例で決まらず ・人事院報告の課題と官民比較の賃金のポイント ・現業職員の給与水準と論点 ・退職手当の課題と指摘すべき点
効果・成果等	<p>講師の山本俊之氏は、大阪府特別顧問という事もあり、大阪府の事例を上げながら、大阪府の行政改革の流しを中心とした講演をしてください。</p> <p>自治体における人事上の課題として、社会の複雑化、変化の加速化に対応するリーダーシップと、専門性のある人材の不足が課題。現在の人事のあり方は、育成は困難との指摘があり、私も同感である。(異動、昇格は恣意的で専門性向上にはつながらない)。内題取組も必要ではない。</p> <p>人材育成基本計画の策定、人事評価と人事課子かせること、外部PM人材の活用、マネジメント能力、リーダーシップ能力、部下指導能力を審査する(大阪府ではH25年以降の実施)</p> <p>福岡市、社会人採用と増員等について、民間のノウハウを学ぶべきと考えました。</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市収受
竹第号
29.6.-2
処理期限 月 日
資料様式第3号
分類番号

議長	副議長	局長	局長補佐	次長	係長	局員
						

平成29年5月20日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 大川 弘雄



視察・調査場 所	広島市
期 日	平成29年5月10日 ~ 平成29年5月10日
経 費	17470 円
参加者氏名	大川 弘雄
視察・調査目 的	「チーム学校」の要点と解説
内 容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	講師 水野 達郎 未来を作る教育のための論点をおさえる為、チーム学校の概要、チーム学校の課題と展望、チーム学校の先行事例と議会質問のポイントなどお聞きした。特に、目的が学校教諭の実質労働時間の短縮だけでなく、児童生徒の多様性を認め、不登校や問題行動へ対応がスムーズにいくよう地域や部外講師・スクールサポーターなどの協力体制の整備を必要とされ、今後においても児童生徒はもちろんのこと学校教諭をサポートして未来ある児童生徒の育成により一層の努力を必要とされるとの事でした。
効果・成果等	チーム学校とは、これまで教員が何でもこなしてきた学校組織を専門家や地域の人達の力を取り入れることで、教員が授業に専念出来るような体制作りを目指すものです。 そのためには本市に於いては ICT 支援員の活用や必要性を強く感じました。

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

竹原市 収受
竹 第 号
29. 6. -2
発着期 月 日
分類記号 保存年限

資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	次長	係長	局 員
						 

平成29年 6月 2日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 大川 弘雄 

視察・調査場	新4代町 神田駿河台1丁目1番地 明治大学アカデミービル2F A4, A5, A6会議室, 大会議室
期 日	平成29年 5月 18日 ~ 平成29年 5月 19日
経 費	¥16,500 円 (交通費は自費に参加)
参加者氏名	大川 弘雄
視察・調査的目	第9回, 2017年度 日本自治創造学会 研究大会
内 容 (視察先の現状, 竹原市との比較等)	5/18(13:00~20:00) 5/19(09:30~14:55) ~前例から創造へ~ 人口減・高齢化と乗り越えろ。 ・地方議員のリーダーシップと議会の責務-地方自治の挑戦と具体策- ・人口減の挑戦-解決への処方箋- ・自治体のスリット改革-軌道と下関+視察と小沢- ・人口減少と少子化-人口減と高齢化と乗り越えろ。 ・改革推進委員会交流会-改革の推進-心と1の進出。親睦交流~ ・財政と民営化の将来-トランプ大統領の影響- ・人口減少社会への地域づくりと展望 ・自治体改革の実現力 ・人口減少への自治体イノベーション ・地方議会の役割と再生 - XTPと市民・視点から -
効果・成果等	◎ 指針者あり、各自考えず専断したとの発言あり。及びその方向性、又その あり方、何れも教示もなし。考えずの「変革の時代」は、 私に押し付けられた。高齢者への「取組」は「国」の責任に任せ、 と考へていた(特に地域包括ケア(2022) 早急に対策の必要性を感じた。 又、議会はどうあるべきか? (これからの自治体の課題) 中央省庁と 連携すべき② 地方自治体の自治と変革(英語と勉強にヨーロッパ留学と! 授業料 は5万円) ③ 2025年内閣 ④ 将来構想と考へる 特別委員会を設置して 勉強会、データ収集とこれからの自治体の発展あり

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。

- ◎ 地方議会戦略の策定は、向かいの、実行力/改善力
トランプの改革とポルコフの改善運動の連携を(取組も個性と生かす時)
課長力、部長力に向かい、人事のTOP!

竹原市収受
竹第号
29. 8. 10
処理期限 月 日
分類記号 保存年数

資料様式第3号

議長	副議長	局長	局長補佐	係長	局員
					 

平成29年 8月 10日

議員(視察・調査・研修)結果報告書

議員氏名 大川 弘雄 

視察・調査場	東京都渋谷区代々木1-36-4全理連ビル9階会議室
期日	平成29年8月3日 ~ 平成29年8月3日
経費	44,300円 (交通・宿泊費34,300円 講習費10,000円)
参加者氏名	川本 円・高重 洋介・大川 弘雄・堀越 賢二
視察・調査的目	地方議員セミナー2017 保育の充実と地方行政
内容 (視察先の現状、竹原市との比較等)	<p>講義1 保育にかかわる国・自治体行政の動向 講義2 保育士不足解決のための処遇改善の道 講義3 施設の増設・再編、事業計画見直しへの対応 講義4 学童保育(放課後児童クラブ)の状況と課題</p> <p>新制度実施3年目を迎え、新たな「子育て安心プラン」をはじめとする国の政策動向や自治体の状況の説明を受け、問題となっている保育士不足への対応が急務とされ、政府を含めた自治体としての処遇改善のための課題を整理する必要が求められている。また、待機児童の解消の目処は未だにたっておらず、それから考えられる施設の再編や事業計画の在り方、見直しも今後、整理するようになってくると思われる。</p> <p>放課後児童クラブにおいては、年々増加してくる児童の受け入れ態勢、特に指導員の確保にどの自治体も苦勞されており、地域や児童の多様性に対応できるかが、重要になってくることのお話でした。</p>
効果・成果等	<p>講義1について、少子化であるのに、待機児童の増加にこの状態では、共働き世帯の政治課題化にこの問題点を明確にする必要がある(保育園の必要性)</p> <p>講義2: 保育士不足の解決のため、市町で単独補助(A類)と、国の政策との幼児教育の無償化など取り組むこと</p> <p>講義3: 公共保育施設の認定こども園化の問題として、中心部のみで自治体への移行は、トコナラシムは、ボトムアップの形で市民の声を聞きながら子育ての利便性を考えること。田舎は、人が減る子育ては、(公立保育所施設の既設は、基準財政需要額を算定し、算定額を超過する)議員・職員には、省庁に働きかけ活用する財源を見つけていくことが必要(国債発行の活用も、農産物の生産も可能性あり)</p>

※ 実施後1ヶ月以内に報告する。